



# Musashi RED Programs

2024 年度  
参加者募集案内

学校法人 根津育英会武蔵学園

## 目 次

ご挨拶 .....	1
RED プログラムとは .....	2
講師紹介.....	3
iPad の使用について.....	3
RED プログラム 2024-2025 について.....	4
イブニングプログラム.....	4
Basicコース «主に中学 1 年生対象».....	4
Intermediate コース «主に中学 2 - 3 年生対象».....	5
Completion コース «主に中学 3 - 高校 1 年生対象».....	5
Advanced Program «主に高校 1 - 2 年生対象».....	6
サマープログラム.....	7
RED 現役生・卒業生からのコメント.....	8
申込み方法について.....	9
参加費について.....	10
プログラム開催地について.....	11
お問い合わせ先 .....	12

---

### ■個人情報の取扱いについて

#### 武蔵学園（武蔵大学、武蔵高等学校中学校）個人情報保護指針

本学園は、学生・生徒及び本学園に係わる方々の個人情報を保護するために、法令等を遵守し、指針を定め、個人情報を適正に取り扱うよう努めます。

1 個人情報の取得及び利用について

本学園は、適法かつ公正な手段によって、個人情報を取得し、利用目的の範囲内のみで使用します。

2 本人からの開示請求等について

本学園は、本人から自己の個人情報について、開示・訂正・利用停止等を求められた場合、速やかに適正な対応をします。

3 個人情報の管理について

本学園は、個人情報を正確に保ち、安全に管理します。そのために、教職員、学生及び生徒に対し、研修・教育を実施し、個人情報の適正な取扱いを徹底します。

4 個人情報の第三者提供について

本学園は、法令に定める場合を除き、事前に本人の同意を得ることなく、個人情報を第三者に提供しません。

5 個人情報保護規程等の策定、維持、改善

本学園は、この指針を実行するため、「個人情報保護規程」とそれに関連する規程を定めるとともに、個人データ取扱台帳を作成し、継続的に改善します。

学校法人根津育英会武蔵学園 理事長  
学園長



池田 康夫 / 学校法人根津育英会武蔵学園 学園長

1922年に初代根津嘉一郎が我が国初の7年制私立高等学校である旧制武蔵高等学校を創設してから、2022年で100年になりました。その頃から、建学の三理想である『1、東西文化融合の我が民族理想を遂行し得べき人物 2、世界に雄飛するにたえる人物 3、自ら調べ自ら考える力のある人物』を育成すること』を掲げて、武蔵はこれ迄に数多くの有為な人材を輩出してきました。

急激に国際化が進んでいる現在、グローバルな視点で物を考え、政治、経済、科学などそれぞれの分野において、海外の人々とも十分にコミュニケーションが取れ、グローバルリーダーとなって活躍できる人材を育成することは我が国の急務であり、武蔵学園の大きな使命であると考えています。

武蔵学園ではその目標を達成する第一歩として、中高生を対象に、『英語で科学を学ぶ』イマージョン教育としてRED ( Research, Essay Writing, Discussion ) プログラムを開設しました。

科学のいろいろなテーマについて、調べ、考え、論文にまとめる力を養うと共に、科学的な思考過程を身に付けるための英語プログラムを提供します。中学・高校で学んでいる英語を科学という興味ある学問の場で実践してみる良い機会にもなるでしょう。世界共通の言語である英語を習得する新しい試みとして生徒さんに大いに役立つプログラムであると確信しています。

授業は、科学のバックグラウンドを持つ外国人講師が担当します。講師は種々の工夫をし、生徒とのコミュニケーションを取りながら、英語で科学への理解を深めるよう授業を進めます。数学、物理、生物、化学、地学、天文学の他、医学、建築学、工学などに関連する様々なトピックスを題材に、生徒さんそれぞれが、自ら調べ、思考を巡らし、その結果を講師や仲間と英語で議論をします。それぞれのクラスには数名の外国人のティーチング・アシスタントがついており、授業を補助致します。このような「イマージョンプログラム」は外国語習得の効果的な方法として現在多くの国々で試みられています。

RED プログラムは武蔵高等学校・中学校の生徒さんに限らず、他校生にも門戸を広げ、参加を呼びかけています。このプログラムを通じて我が国から世界をリードする優秀な人材が数多く生まれることを心から期待しています。

## RED プログラムとは

REDとは「Research, Essay Writing, Discussion」の頭文字を取ったもので、「三理想」を現代に生きる世代に向けて実践し、「科学的なものの見方」を育てます。受講生は世界共通の知の体系である「科学」を世界共通言語である英語で学ぶことを通じて、知性と教養を身に着けることを目指します。

9月開講のイブニングプログラムと、夏期に集中して科学探究の楽しみを体験するサマープログラムの2つのプログラムで構成されています。



### ◆REDプログラムではどんなことを学べますか？

REDの授業では、物理、生物、化学、医学、天文学などの様々な科学分野、さらに、科学者の伝記や科学技術について、順次、取り上げていきます。科学者の考え方、科学が社会に与える影響を学び、その学びを通じて、より広く科学について理解することができるようになるでしょう。イブニングプログラムは、「Basic」、「Intermediate」、「Completion」、そして「最上級コース」である「Advanced Program」の4つのコースがあります。「Basic」から「Completion」、そして「Advanced Program」へと進むにつれて、テーマをますます深く学習していくことを目指しています。

### ◆REDプログラムの授業と学校の授業の関係は？

REDの授業では、学校で学ぶ科学と英語を補完するプログラムです。生徒が学校の授業で学習したことがREDの授業の土台になっています。学校で学んだ内容を、講師や生徒同士で英語でのコミュニケーションを通してさらに発展させて学習することは、生徒たちにとって刺激的な経験となるでしょう。また、生徒それぞれが関心のあるテーマについて、じっくり取り組むこともできます。科学そのものを学ぶことにとどまらず、科学や技術に携わる人々や社会に与える影響などについて学ぶこともできます。

### ◆REDプログラムのティーチング・アシスタント

全てのクラスに、生徒5～6名に1名のTeaching Assistant (TA)がつきます。彼らは海外から日本に留学している大学院生や博士号をもった研究者などで、国籍も様々です。彼らからも直接科学や異文化を学べます。



## 講師紹介



### アカデミック・コーディネーター・講師 タン・ダット・ブォ Dr. Thanh Dat Vo

ベトナム国家大学附属英才教育高等学校にて生物学と英語を専攻し、早稲田大学大学院で博士号取得。Basic クラスおよび Completion クラスを担当



### 講師 ジェームス・カーサー James Cossar

トロント大学にて生物学を学び、外国人向け英語教育の経験豊富。日本の高等学校においても英語教育に携わる。Intermediate クラスを担当



### 講師 アレックス・ケマ Dr. Alex Quema

デ・ラ・サル大学（フィリピン）にて物理学専攻、大阪大学大学院で博士号取得。国際バカロレアの DP 認定校にて教鞭をとる。Intermediate クラスを担当



### 講師 モハメッド・サルハン Dr. Mohammed Sarhan

東京大学医学系研究科で博士号取得。2023 年 2 月時点、慶應義塾大学 健康マネジメント研究科（湘南藤沢）に在学中。Advanced Program を担当



### 講師 マイケル・アリンズ・オグブゴ Michael Arinze Ogbugo

芝浦工業大学理工学研究科にて修士号取得(電気電子工学専攻)。Basic クラス を担当。

## iPad の使用について

本プログラムは、タブレット型コンピュータの iPad を使用します。予め、各自でご用意をお願いします。

### iPad のタイプ（詳細は、ご受講決定後にご案内いたします。）

- ◆ Bluetooth が搭載されている iPad であれば問題ありませんが、なるべく新しいバージョンを推奨します。最新の iOS にアップデートできない場合、アプリケーションによっては全機能を使用できないかもしれません。
- ◆ 容量は、私用で動画や写真などを大量に保存するのでなければ、最少のもので問題ありません。
- ◆ 破損や傷等の防止のため、保護カバーの使用をお勧めします。



## REDプログラム 2024-2025 について

### 【REDプログラムの構成】

#### ① イブニングプログラム

9月から翌年6月までを1年とし、1学期(9月-11月)、2学期(1月-3月)、3学期(4月-6月)の3学期制です。週2回、放課後の6時半から8時半の2時間、江古田キャンパスで学びます。各学期の最終日には保護者の方も参観可能な発表会を開催します。

#### ② 集中して科学の探求を楽しむサマープログラム

夏休みの短期間、集中して科学を学びます。世界最先端の研究を行う科学者から直接講義を受けたり、海岸などへのフィールドトリップも予定しています。

2024年度は国内外で宿泊を伴うプログラムを沖縄(中3以上対象)と英国ロンドン(高1以上対象、英語要件あり)で実施します。

### 【イブニングプログラム】 2024年9月-2025年6月

週2回放課後に武蔵学園江古田キャンパスで行うプログラムです。授業を担当するのはサイエンスのバックグラウンドがある講師です。また全てのクラスで生徒5~6名に1名のTeaching Assistant(TA)がつきます。講師が学期毎に選んだ科学領域のメインテーマを元に、生徒達は Research をし、Essay を書き、そして Discussion をします。

各コースの開講の曜日、時間は以下の通りです。

コース・プログラム名	授業日・時間	授業数
Basic/Intermediate	月・水 18:30-20:30	(1学期) 約20回
Completion/Advanced	火・木 18:30-20:30	(年間) 約60回

### Basic コース概要

▶対象: 主に中学1年生

▶定員: 25名

(目標) 科学に関する英語の基礎を身に付け、与えられたトピックを自分で調べ、それについて簡単な文章を英語で書き、基礎的なディスカッションができるようになることを目指します。

(授業) 科学の幅広い分野をまず学びます。また科学者の伝記を読み、そこから科学の基礎的な考え方を知ります。その学びを通して生徒は自分が興味を持てる分野を探求します。

科学を直に感じ、さらに学びを深め、興味を持つような簡単な実験もします。

9月からの授業に先立ち、REDプログラムの授業に慣れるための準備コース「Ready for RED Program」(8月26日(月)-8月30日(金)、5日間 10時-12時)を予定しています。



## Intermediate コース概要

▶対象：主に中学 2-3 年生

▶定員：25 名

（目標）科学の知識を上げると共に英語の 4 技能の基盤づくりをし、さらに科学の分野を深く学ぶ力を身に付けます。

（授業）Basic と同様、様々な科学に関するトピックを英語で学びます。科学に関する文章を読んだり、Essay Writing の基本の型を学び、その型をもとに論理的に自分の意見を書くことに挑戦します。プレゼンテーションの基本的な態度や型も修得し、各学期末の発表会では英語で発表も行います。



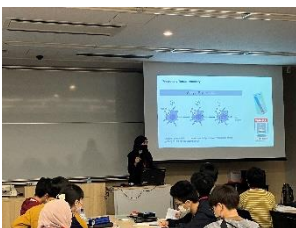
## Completion コース概要

▶対象：主に中学 3-高校 1 年生

▶定員：25 名

（目標）RED プログラム レギュラーコースの最終年度として、生徒は自分の興味あるトピックを自ら調べ、調べたことを自分の言葉で論理的に書き、仲間と議論をし、最終的に自分の言葉で発表できるレベルを目指します。

（授業）地球、原子、アルゴリズム、AI、微生物等、幅広い分野を学びつつ、英語と科学への興味を最大限に引き出していくように指導します。各学期、生徒は共通テーマについて英語で学習し、議論します。その後、個人のリサーチクエストを選び、英語で調べ、クラスメイトと英語でディスカッションするために準備をします。海外大学への進学や進路に関する講義、英語検定試験説明会等、早いうちから海外への留学や英語学習に関する情報提供も行います。



## 【RED Advanced program】 2024.9 – 2025.6 開講

▶対象：主に高校1-2年生

▶定員：15名

▶概要：英語で科学をさらに深く学びたい生徒、科学的なテーマについての研究を深めたい生徒、より高度な英語力を身に付けたい生徒、将来海外進学も考えている生徒などを対象とした、REDプログラムの「最上級コース」です。

数字やデータに基づく考え方を学び、様々な文献を読み、リサーチトピックを自ら調べ考え、決定。最終学期には、自分の興味ある分野に関して英語で論文を書き、発表を行います。

また以下の学びの場も準備します。

- ① 各分野のトップクラスの専門家による講演・ディスカッションの機会や、現役科学者であるメンターによる個別指導など、学術的(Academic)な材料、知的刺激を得る場
- ② 海外進学に関する実用的(Practical)な知識、情報の入手、リサーチスキルの習得

9月からの授業に先立ち、準備コース「Pre-Advanced Program」(8月26日(月)-8月30日(金)、5日間 基本の授業時間10時-13時、8月27日(火)には理化学研究所へのフィールドトリップ)を予定しています。

理化学研究所にて受講するゲスト講師による講義：

### 「脳の残り半分の正体：グリア細胞/Glia: The other half of brain」

理化学研究所 脳神経科学研究センター チームリーダー(Principal Investigator)長井淳 Ph.D.  
脳には少なくとも2,000億個の細胞が存在しており、互いを繋いで脳回路を作っています。そのうちご存知のニューロンの占める数は半分以下にすぎず、残り半分の細胞の研究は100年以上進んできませんでした。その歴史的背景、また近年興りつつあるグリア細胞の研究の隆盛について触れ、「脳研究の裏側」に触れてもらいます。





## 【サマープログラム】

RED プログラムのサマープログラムは、フィールドトリップや様々なアクティビティも取り入れた普通の学校の授業とは違う体験型のプログラムです。生徒一人ひとりが自分の関心のあるテーマについて研究し、それぞれのプログラムの最終日に研究成果を発表します。サマープログラムだけの参加も可能です。

2024 年度の宿泊を伴うプログラムについては、沖縄へ行きマリンサイエンスを学ぶプログラムと、武蔵学園 RED プログラムと 2023 年 11 月に協定を締結した英国 King's College London での海外サマープログラム（11 日間）を開催します。（2024 年度の海外プログラムについては、募集期間終了）

プログラム名	対象	日程	内容
<b>コース①</b> <b>Micro Plastics and Environment</b>	主に中学 1~2 年	7月22日(月) } 7月26日(金) (5日間) 10:00-16:00	海洋生物学と環境科学について学びます。海洋研究開発機構 (JAMSTEC) の元上席研究員の指導のもと神奈川の海岸で MP 採取、調査をするフィールドトリップもあります。
<b>コース②</b> <b>沖縄科学技術大学院大学 (OIST)でマリンサイエンスを学ぶプログラム</b> (株) JTБ 川越支店の受注型企画旅行	中学 3 年生以上	8月19日(月) } 8月24日(土) (6日間) *上記日程前に事前学習あり	沖縄科学技術大学院大学(OIST)の協力のもと、サンゴ礁に関するフィールドワーク実施、深海に関する研究などマリンサイエンスをテーマに、現地実習も含めた研修を行います。
<b>コース③</b> <b>King's College Londonで科学を学ぶ RED 海外サマープログラム</b> (株) エステーエートラベル受注型企画旅行 (募集期間終了)	渡航時 高校 1 年生以上	7月27日(土) } 8月6日(火) (11日間) *上記日程前に事前学習あり	King's College London の教員による講義やワークショップ等の受講と学生寮での滞在を通じて海外大学での学びの体験をするプログラムです。 2024 年のテーマは Biomedical Engineering。 King's College London からの修了証が授与されます。

### ゲスト講師による講義 : Micro Plastics and Environment

#### 「考えよう、海岸から地球の未来！」

元国立研究開発法人海洋研究開発機構 (JAMSTEC) 上席研究員 加藤 千明 Ph.D.他

毎年 800 万トンのプラスチックごみが海洋に流出しておりますが、海岸に漂着して回収される海洋ゴミはほんの数%程度です。多くは最終的には深海に蓄積し、海の生態系に深刻な影響を及ぼし、温暖化問題と並んで地球の未来に暗い影を落としています。本講座では、海岸でマイクロプラスチック調査を行い、実験を通して今の海の現状を学びます。さらに微生物の隠された能力を解明し、新時代のエネルギーとして期待されている「微生物電池」「バイオ発電」について、実験を通して深く学び、未来の地球について議論します。

## RED 現役生・卒業生からのコメント

僕は RED プログラムに参加したことで、人前ではっきり話すことの大切さを再認識しました。小学生の頃は、人前で話す時はいつも緊張して声が小さくなりましたが、中学生になって英語の発音に気をつけて英語を話していくうちに自然と声が大きくなっていくのを実感しました。Term1 のプレゼンではまだ僕は周りに比べて声が小さかったので、Term2 のプレゼンテーションではっきりと喋れるように努力したいです。

現 RED 生（武蔵中学 2 年生）

僕は中 2 の夏の終わり頃から RED に入ったばかりなので目に見えた成果というものはまだ無いのですが、前まで聞けなかった英語のリスニングが少しずつ聞こえるようになりました。また、RED に限らず、質問することや話しかける事に抵抗が無くなったりと、少なからず良い影響を受けています。あと、同学年の人が多いのでとても楽しいです（たまに飛び級で上がって来る人もいますが、大抵その人の方が英語がうまいです）。現 RED 生（武蔵中学 3 年生）

私は高校 1 年から 2 年にかけて 1 年間アドバンスクラスで学びました。それまで学校の英語の授業だけでしか学んでこなかったので、科学的なトピックを全て英語で議論し、毎授業ごとに大量のライティング課題が出る RED の環境は、最初のうちは本当に大変でしたが、だんだんとできるようになっていきました。そのおかげもあって、ブラウン大学のサマーキャンプに参加したり、国際天文学・天体物理学オリンピックに日本代表として参加したりした際に、躊躇なく会話して、アカデミックな内容を世界中の人たちと深めることができました。RED での学びはみなさんが留学して学ぶ際に日常会話だけでなく学問的なレベルで必ず役に立つでしょう。（武蔵高等学校 98 期 2024 年 4 月東北大学入学）

私は中学一年生から約 2 年間 RED プログラムを受講していました。英語で考え、話すことは簡単なことではありませんでしたが、素晴らしい先生や T A に恵まれ、楽しく英語を身につけることができました。RED プログラムの授業で英語で考え、調べ、発表することを繰り返すうちに英語力に自信が付き、留学する決心ができました。中学 3 年生からニュージーランドの現地校に通い高校を卒業し、今年から現地の大学へ入学予定です。高校の授業でも英語に困ることなく単位を取得して大学へ入学できたのは RED プログラムでの経験があったからです。皆さんも RED プログラムを通して英語力に磨きをかけてください。（RED プログラム参加時の学校名：筑波大学附属中学校・2024 年 2 月 Auckland University of Technology 入学）

## 申し込み方法について

### 申し込みおよび選考

		日 程	内 容
イブニング プログラム	お申込み	4月13日(土) - 5月27日(月)必着	参加申込書(ホームページからダウンロードできます)に必要事項をご記入の上、「簡易書留」でREDプログラム推進センター宛に郵送してください。
	選 考	6月7日(金) または 6月8日(土) 結果通知:7月初旬予定	受講の意欲などをみる目的で、作文*1の提出と模擬授業を受けて頂きます。その結果により受講の可否を判断します。選考の日時、結果の通知はメールで連絡いたします。
サマー プログラム	お申込み	4月13日(土) - 6月10日(月)必着	<b>イブニングプログラムとサマープログラム両方を申し込む場合は、上記イブニングプログラムの申込日程に従って必要書類をご提出ください。左記日程はサマープログラムのみの申込みの場合になります。</b> 参加申込書に必要事項をご記入の上、作文*2とともに「簡易書留」でREDプログラム推進センター宛に郵送してください。

\*1作文は、Basicは日本語、Intermediateは日本語と英語(継続生は英語のみ)、CompletionとAdvancedは英語になります。REDプログラムに新規に応募される生徒には、模擬授業と同じ日に選考会場にて、制限時間内で作文を書いていただきます。

\*2サマープログラムの作文は日本語でお書きください。宿泊を伴うプログラム(沖縄)は、申込者数が定員(20名)を超えた場合抽選を行い、6月中に参加者を決定し通知します。

### 申し込みに必要な書類

Musashi RED Programs 2024 参加申込書(所定用紙)

なお、2023-2024 イブニングプログラム受講生の方には、別途申し込みに必要な書類をご案内いたします。

### 申込書の送付先

〒176-8533 東京都練馬区豊玉上1-26-1

学校法人根津育英会武蔵学園 「REDプログラム推進センター」宛



## 参加費について

### 【サマープログラム】

プログラム	参加費	参加費納入期間
Micro Plastics and Environment	75,000 円 <sup>*1</sup>	7月8日(月)-7月19日(金)

\*1 参加費には、フィールドトリップの交通費が含まれています。

「沖縄科学技術大学院大学(OIST)でマリンサイエンスを学ぶプログラム」の参加費は、株式会社 JTB 川越支店の募集案内をご覧ください。

### 【イブニングプログラム】

プログラム	参加費 <sup>*2</sup>	参加費納入期間
Basic コース	340,000 円 <sup>*3</sup>	7月15日(月)-7月29日(月)
Intermediate コース	280,000 円	
Completion コース		

\*2 すべてのイブニングプログラムの参加費には、教材費 10,000 円が含まれます。

\*3 8/26~8/30 開催予定の準備コース「Ready for RED program」の参加費を含みます。Basic コースの受講生は、必ず受講してください。

### 【Advanced Program】

プログラム	参加費	参加費納入期間
Advanced Program	340,000 円 <sup>*4</sup>	7月15日(月)-7月29日(月)
Pre-Advanced Program <sup>*5</sup>	75,000 円	

\*4 参加費には、教材費 10,000 円が含まれます。

\*5 8/26~8/30 開催予定の Advanced Program 準備コースで、Advanced Program 受講者は受講を強く推奨します。8月27日(火)に理化学研究所へのフィールドトリップが予定されています。

### 参加費の納付

参加費の納付先は、選考後受講が決定しましたらご案内します。

上記納入期間にお振込みください。

- ◆ ご納付の参加費は、今年度初めて RED に入られる受講生のみ第 1 学期を「トライアル期間」とし、1 学期修了後に RED を退校する決断をされ 2 学期以降出校されない場合は 2 学期・3 学期分の参加費を返金いたします。それ以外のケース（2 学期以降に辞める場合、前年度から継続の RED 受講生の場合など）は返金いたしません。



## プログラム開催地について

### 武蔵学園江古田キャンパス（東京都練馬区豊玉上 1-26-1）



- 西武池袋線「江古田駅」より徒歩 6 分
- 西武池袋線「桜台駅」より徒歩 8 分
- 都営大江戸線「新江古田駅」より徒歩 7 分
- 西武有楽町線「新桜台駅」より徒歩 5 分
- 中野駅より関東バス江古田駅行「江古田駅」下車徒歩 5 分
- 高円寺駅より関東バス・国際興業バス赤羽駅行「豊玉北」下車徒歩 5 分
- 目白駅より都営バス練馬車庫行「武蔵大学前」下車徒歩 0 分

#### ■ お問い合わせ先

根津育英会武蔵学園 RED プログラム推進センター

〒176-8533 東京都練馬区豊玉上 1-26-1

（開室時間 9:00～17:00 土日祝日休み）

TEL : 080-9527-2681

- ・プログラムに関するご質問は、RED プログラムホームページの問い合わせフォームにて、下記の QR コードまたはリンクからお送りください。



[https://www.musashigakuen.jp/torikumi/red/toiawase\\_red.html](https://www.musashigakuen.jp/torikumi/red/toiawase_red.html)

- ・今後の募集や説明会等に関する情報については、随時ホームページを更新していきます。こちらませひご覧ください。

